

会 議 録

会議名称	第1回渋川市子ども・子育て会議会議録
開催日時	平成26年 5月30日(金) 午後3時00分～午後5時
開催場所	渋川市役所 第2庁舎 204会議室
出席者	出席 16名
欠席者	欠席 2名
傍聴者	・名
事務局	7名
配付資料	別添のとおり
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 挨拶 3 委員自己紹介 4 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) (仮称)渋川市子ども・子育て支援事業計画について (2) 子育て支援の概要について (3) 委員からの質問・意見等 (4) その他 5 その他 6 閉会

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>議事</p> <p>議事(1)(仮称)渋川市子ども・子育て支援事業計画について</p> <p>議事(2)子育て支援の概要について</p>
委員	<p>資料2の19ページ、2幼稚園教育の充実でイの預かり保育事業について、こちらの長期休業期間と預かりと通常開園日8時から8時40分とあるが、こちらは全ての公立幼稚園では行っていないと思うが、この記載だと見方によっては全ての公立幼稚園で行っていると思ってしまうのでは。</p>
事務局	<p>公立幼稚園については、全ての園で可能な限り預かり保育を実施することになっています。ただ園や先生の行事や職員研修会、そういったことがどの園でもあるので平均で月4～5日ぐらいは預かり保育が行えない。保育所のように毎日預かることはできないが、それに近い状態で運営できていると考えています。</p>
委員	<p>朝の8時から8時40分に渋川幼稚園はなっていないと思います。また、長期休業中8時から18時も行っていない、渋川幼稚園は現在、夏休み中は午前中しか預かり保育を行っていないと思いますが。</p>
事務局	<p>私が把握している範囲だと、申し込みがない場合は行っていない。あらかじめ何時に預けたいという申し込みがあり、それに対応できる場合は預かっていますがご指摘を踏まえ確認します。</p>

委員	夏休みは7月中の何日かしかなかったと思いますが。
事務局	夏休み中に職員研修が集中しており、職員数が少ないので研修等により預かりのスタッフがそろえられないことがあるのは聞いています。今後できる限り預かり保育ができるように進めていきたいと思えます。
委員	研修があるとのことですが、子持幼稚園は午後まで預かる、夏休みも預かっている状態だと思います。個々の幼稚園によって差があると思うので、今後統一をしていただくほうがいいと思います。
事務局	各幼稚園の規模が大幅に違い、子持幼稚園は規模が一番大きい分、預り保育を行いやすい環境にあると思います。今後各地域でも保護者のサービスにつながる預かり保育については取り組んでいきたいと考えております。
委員	預り保育や延長保育等様々な保育サービスがあると思いますが、本来の時間内で子どもを預けることも考えなくてはいけないと思うので、預かって当然ではなく、労働時間等、経営者側に働きかけを行っていく必要もあるのでは。
会長	いずれにしても実態としてどの程度保護者が子どもを預けることができるのかというのが重要な状況ですのでしっかりと把握を行う必要があると思います。

事務局	認定制度について補足説明
会長	初歩的な質問で恐縮なのですが、認定というのは新規の場合だけで すか。それとも毎年同じ子供についても認定する、あるいは子供とい うより保護者について認定するというのでしょうか。
事務局	今は1年1年新たに認定をしています。
会長	新しい制度でも毎年秋ごろに次年度のことを申請して認定を受け るということになりそうですか。
事務局	現在国の会議でも様々議論が行われておりますので、国の動向に注 視しながら、国から基準が示されればそれに乗っ取って行っていきま す。
委員	認定後の幼稚園への入園手続についてはどの様に行われますか。
事務局	現段階では幼稚園が申し込みを取りまとめて市に一括1号認定の 依頼を行うことが認められていると聞いております。認定について、 1号は幼稚園経由で市に、2号、3号については市に直接と理解して います。
委員	保育が要らないという感じで幼稚園に申し込み行くということ ですか。

事務局	<p>2号3号については保育認定が必要になりますので、市が保育認定を行います。保育認定をした2号については、保護者の意向として幼稚園か保育所のいずれかを選べるということだと思います。</p>
委員	<p>幼稚園の場合は個人で直接契約を行うことになると思いますが、そういった場合はどのような契約になりますか。</p>
事務局	<p>具体的なマニュアル等が来ていないが、今後できる限り保護者の方や幼稚園、保育所の負担にならないように進めていきたいと考えております。</p>
委員	<p>資料2の5ページに障害児の保育促進事業とありますが障害児保育の状況について教えてください。</p>
事務局	<p>公立保育所については各保育所がそれぞれ軽度、中度、重度という3段階に程度を分けており、特別な指導が必要であるという方については臨時職員ですが保育士を増やして対応をしています。市の考えとすれば障害の有無に関わらず、希望するお子さんがどこの保育所、幼稚園でも通えるような体制は支援していきたいと考えています。</p> <p>議事（3）委員からの質問・意見等</p>
委員	<p>アンケートの自由回答の内容、区域設定の想定、次世代育成支援行動計画の達成状況について質問致します。</p>

事務局	<p>アンケートの自由回答につきましてはお手元にCDでお配りさせて頂きました。また、区域については今現在においては渋川市全域を1区域と設定するという考えであります。計画に掲げた事業としては概ね達成できていると思います。子ども・子育て支援事業計画に引き継ぎながら、引き続き事業実施していきたいと思います。</p>
事務局	<p>議事（4）その他</p>
委員	<p>先日消滅可能性都市について報道されていたが、渋川市としてはどう人口減少等についてどのように対応をしていくつもりですか。</p>
事務局	<p>消滅可能性都市の根拠はあくまでも人口推計の結果ですが、そこに対して国・県・市がどのくらい真剣に考え、皆さんとこういった議論をしながらどのように対応していくのかを深刻に考える時期にきているという事を感じました。対応ということではないですが、そういった気持ちで皆さんと色々な議論をしたいと思いました。市としても人口減少対策につきましては、全庁的な取り組み体制をとっております。その1つのあらわれが保健福祉部にこども課を新設した中で、幼稚園もあわせた中で取り組んでいこうというのが1つのあらわれだと思います。それと市におきましては人口減少対策ということの中で推進委員会をつくっております。その中の1つの専門部会の下で、今婚活支援にいてもこども課で担当しています。人口減少対策については地域や行政だけでなく、市民一人一人が自分のこととして捉えていただく中で取り組む必要があると思いますので、今後につきましても積極的な御協力をお願いしたいと思います。</p>

委員	<p>人口が減少している中で親の立場から言わせてもらおうと2人よりも3人目を思わせるような渋川市であってもらいたいと思います。そういった面ですべきことは市の中でも沢山あると思うので、そういったこともまぜて検討して行って欲しいと思います。</p>
委員	<p>いろいろ皆さんの御意見も聞かせていただき、現時点では国の基準が出てないのでなかなか前に進まない状況になっていますが、渋川市自体は国の基準に倣っていくことになると思いますが、市が抱えている様々な問題・課題を渋川市独自の新しい視点を持って解決していくための議論をこの会で行い、渋川市に活かしていけるようにしてもらいたいと思います。</p>
会長	<p>今後の議論の参考になるご意見を頂きました。他に無ければこれで終了します。御協力どうもありがとうございました。</p>